

# ふかえりのわくわくFP通信

ちょっと気になる「資産運用」「保険」「年金」などお金についての話題をお届けします。

## ご挨拶

東日本大震災から12年経ちました。日本は世界で起こる大地震の約2割が起こるといふ地震大国です。地震が起こった時の避難経路や連絡方法などについて家族で話をしていますか？春は卒業や進学、就職や転勤などで通学先や勤務地が変わる季節です。年度変わりのこの時期、家族で防災会議を開いてはいかがでしょうか？

また、卒業や進学はライフプランが変わる時でもあります。保険の内容を確認することも忘れないください。また、NISAやiDeCo（個人型確定拠出年金）を始めるにもいい時期です。就職した会社にDC（企業型確定拠出年金）制度があれば、積極的に運用して下さいね！



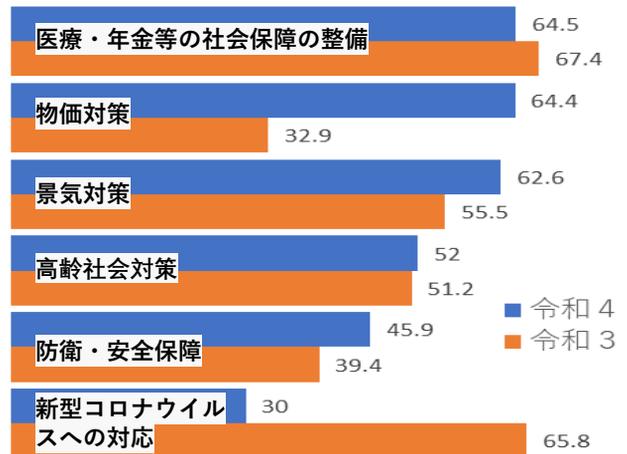
## 今月号のちょっと気になるお金のコラム

昨年からインフレ・物価高が話題になることが多くなりました。狂乱物価と言われた70年代、そして歴史上最悪のインフレとはどのようなものだったのでしょうか？

## 政府への要望は？

皆さんは日本政府にはどのようなことに力を入れて欲しいですか？ 政府に要望を出せるとしたらどのようなことですか？

下図は令和4年「国民生活に関する世論調査」の中の政府に対する要望に対する回答です（上位抜粋、単位％）。



前回（令和3年）と比べると新型コロナへの対応への関心が大きく下がった一方、物価対策が大きく上昇、また防衛・安全保障への関心も高くなっています。

もっとも多かったのは社会保障の整備でした。特に70歳以上では7割以上の方が要望しています。医療・介護・年金が自分事になる年齢で心配がないように若いうちからの準備が大切です！



「みらいのお金クリニック」  
アルシアコンサルティング株式会社  
深川 恵理子

〒251-0023 神奈川県藤沢市鵜沼花沢町2-3PHビル2階  
TEL 0466-54-8417 CALL 090-8437-5259

[HP click](#) ◀ [Blog click](#) ◀ [LINE friend](#) ◀ [Twitter follow](#) ◀

## ちょっと気になるお金のコラム

昨年から「値上げラッシュ」とか「インフレ」というニュースを聞くことが多くなりました。食品の値上げは昨年2万品目以上、今年も7000品目以上の値上げがあります（予定含む）。

つい最近まで「デフレ」、「物価目標2%上昇」などと言われていたので戸惑いを感じる人もいるかもしれませんね。

今月は過去の日本のインフレ、ギネス認定の最悪のインフレについて紹介します。

### 狂乱物価と言われた70年代

下図は1950年から2021年の日本の物価上昇率の推移です。



右図は1970年代を拡大したものです。年平均約9%、10年で物価は約2.3倍に、狂乱物価と呼ばれていました。



オイルショックによる石油の供給不足からの連想で、多くの人々がトイレットペーパーの買い占めに走りました（NHKアーカイブにその時の映像があるので興味がある方はご覧ください）。

検索➡「[NHKアーカイブス トイレットペーパー](#)」

バブル崩壊後は最近に至るまで30年以上に渡り物価上昇は起きていませんでした。

### 人類史上最大のインフレ

人類史上最大のインフレは、1946年のハンガリーのインフレと言われています。最悪期の物価は約15時間で2倍になったそうです。

下記はこの時期のハンガリーの郵便料金の推移です。

1945年5月：1ペング

1945年7月：3ペング（2か月で3倍）

1946年1月：600ペング（6ヶ月で200倍）

1946年3月：2万ペング（2か月で33倍）

1946年5月：200万ペング（2か月で100倍）

1946年7月：40兆ペング（2か月で2000万倍）

（ペング=当時のハンガリーの通貨）

小額紙幣では役に立たずハンガリー政府は高額紙幣を発行、この時に発行された、1垓（がい）ペング札が歴史上もっとも高額な紙幣と言われています（1垓は1のあとに「0」20個）。

第二次世界大戦後の物資不足の中、ハンガリー政府が大量に紙幣を刷ったことで貨幣価値が下がり物価高になったと言われています。

現代の日本でここまでのインフレを想定することはないと思いますが、インフレが起こると貨幣価値が大きく下がります。

老後資金など、長い期間をかけて準備するお金についてはインフレの影響も考慮した方法を検討することも大切です。